

**がん免疫療法副作用の
3分自己チェック法 ver1.0
(irAE逆引きマニュアル ver4.0)**

**市立長浜病院呼吸器内科
野口哲男**

はじめに

- **免疫チェックポイント阻害薬（ICI）**は患者さんの免疫力をあげてがん細胞を攻撃する、いままでの抗がん剤とは全く作用機序の異なる薬です。
- さまざまながんに適応が追加されています。
- 一方、免疫力が上がりすぎることによって、体のさまざまなところに**免疫関連の副作用（irAE）**が起こります。
- 免疫関連の副作用は**早期発見が重要**です。
- そこで、患者さん・家族の人が**症状から病名を推定するマニュアル**を作成しました。
- （元々は医療従事者用に作成したもの（**irAE逆引きマニュアル**）を、患者さん用に用語をわかりやすくしました）
- 内容の改変をしなければ、個人の使用は自由です。転載の際には出典を明示してください。

使い方

- 免疫関連の重要な副作用として、発熱、吐き気、意識レベル低下、だるさ、息苦しさ、腹痛、頭痛、手足の脱力を取り上げました。
- これらの症状を感じたら、その他の症状がないか、表をチェックしてみてください。青字（下線）の症状は特に注意してチェックしてください。
- あてはまる項目が多ければ、その病名である確率が高くなります。
- **いつもと違う症状**があると感じたら、免疫関連の副作用かもしれません。治療を受けている病院を**早めに受診**してください。その際、このマニュアルを印刷して持って**いくと医療者に伝わりやすい**と思います。
- 薬の副作用ではありませんが、一番上に**新型コロナウイルス感染の症状**をあげています。まずは**新型コロナを否定**することが重要です。

免責事項

- 免疫関連の副作用の出方には個人差があり、
表に症状記載がなくても副作用がでて
いる可能性があります。
- 免疫関連の副作用は、後のページにあげる
病名がすべてではありません。
- 記載の症状がすべてでてくるとは限りません。
- 免疫チェックポイント阻害薬を使用している人は、
「いつもとちがう症状」を感じた場合、
このマニュアルに関係なく早めに受診してください。

発熱

以下の症状がないかをチェックしてください。

症状	疑われる病名
咳、味・においの異常、だるさ、下痢、腹痛、吐き気、頭痛、意識レベル低下、息苦しさ	新型コロナウイルス感染症
息苦しさ、痰の出ない咳	間質性肺疾患
咳、痰、だるさ、体重減少、寝汗をかく	結核
頭痛、吐き気、意識レベル低下、首を前に曲げにくい、けいれん	脳炎・ずい膜炎
だるさ、白目が黄色い、吐き気、かゆみ、食欲不振	肝障害、硬化性胆管炎
意識レベル低下、吐き気、無気力感、不安、性格変化、脱力感、おう吐、腹痛、だるさ、食欲不振、血圧低下、色素沈着	副腎障害
むくみ、脇腹痛、尿量減少、関節痛、吐き気、下痢、体重減少	腎障害
背部痛、吐き気、白目が黄色い、腹痛	膵炎
口渇、多飲、トイレが近い、だるさ、吐き気、腹痛、意識レベル低下	1型糖尿病
筋肉痛、脱力感、尿が赤茶色	筋炎・横紋筋融解症
頭痛、息苦しさ、吐き気、おう吐、腹痛、下痢、胸痛、咳、だるさ	心筋炎
水ぶくれ、目の充血、ただれ	皮膚障害
だるさ、けいれん、点状出血、腹部のはり、下痢、顔のむくみ	血球どん食症候群
寒気、のどの痛み	無顆粒球症

吐き気

以下の症状がないかをチェックしてください。

症状	疑われる病名
<u>発熱、咳、味・においの異常、だるさ</u> 、下痢、腹痛、頭痛、意識レベル低下、息苦しさ	新型コロナウイルス感染症
<u>下痢、血便、腹痛</u> 、おう吐	大腸炎
<u>白目が黄色い、だるさ、発熱</u> 、かゆみ、食欲不振	肝障害、硬化性胆管炎
<u>意識レベル低下、だるさ、無気力感</u> 、不安、性格変化、発熱、おう吐、腹痛、食欲不振、脱力感、血圧低下、色素沈着	副腎障害
<u>むくみ、脇腹痛、尿量減少</u> 、発熱、関節痛、下痢、体重減少	腎障害
<u>背部痛、発熱、白目が黄色い</u> 、腹痛	膵炎
<u>頭痛、意識レベル低下、首を前に曲げにくい</u> 、けいれん、発熱	脳炎・ずい膜炎
<u>口渇、多飲、トイレが近い</u> 、発熱、だるさ、腹痛、意識レベル低下	1型糖尿病
<u>頭痛、息苦しさ、腹痛</u> 、おう吐、下痢、発熱、咳、胸痛、だるさ	心筋炎

だるさ

以下の症状がないかをチェックしてください。

症状	疑われる病名
<u>発熱、咳、味・においの異常、下痢、腹痛、吐き気、頭痛、意識レベル低下、息苦しさ</u>	新型コロナウイルス感染症
<u>吐き気、白目が黄色い、発熱、かゆみ、食欲不振</u>	肝障害、硬化性胆管炎
<u>無気力感、不安、吐き気、性格変化、食欲不振、意識レベル低下、おう吐、腹痛、脱力感、発熱、血圧低下、色素沈着</u>	副腎障害
<u>多飲、物が見えにくい、口渇、頭痛、乳汁分泌、トイレが近い</u>	下垂体障害
<u>まぶたがはれる、皮膚乾燥、体重増加、寒がり、脱力感、便秘、脈が遅い</u>	甲状腺機能低下症
<u>口渇、多飲、トイレが近い、発熱、吐き気、腹痛、意識レベル低下</u>	1型糖尿病
<u>頭痛、息苦しさ、吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱、咳、胸痛</u>	心筋炎
<u>水ぶくれ、口内炎、目の充血、発熱、粘膜のただれ</u>	皮膚障害
<u>めまい、脈が速い、息苦しさ、頭痛、顔色が悪い、白目が少し黄色い</u>	溶血性貧血
<u>めまい、脈が速い、息苦しさ、頭痛、顔色が悪い</u>	赤芽球ろう
<u>発熱、けいれん、点状出血、腹部のはり、下痢、顔のむくみ</u>	血球どん食症候群
<u>咳、痰、発熱、体重減少、寝汗をかく</u>	結核

意識レベル低下

以下の症状がないかをチェックしてください。

症状	疑われる病名
<u>発熱、咳、味・においの異常、だるさ</u> 、下痢、腹痛、吐き気、頭痛、息苦しさ	新型コロナウイルス感染症
<u>頭痛、吐き気、首を前に曲げにくい</u> 、けいれん、発熱	脳炎・髄膜炎
<u>だるさ、無気力感、吐き気</u> 、不安、性格変化、食欲不振、脱力感、おう吐、腹痛、発熱、血圧低下、色素沈着	副腎障害
<u>口渇、多飲、トイレが近い</u> 、発熱、だるさ、吐き気、腹痛	1型糖尿病

息苦しさ

以下の症状がないかをチェックしてください。

症状	疑われる病名
<u>発熱、咳、味・においの異常、だるさ</u> 、下痢、腹痛、吐き気、頭痛、意識レベル低下	新型コロナウイルス感染症
<u>痰の出ない咳、発熱</u>	間質性肺疾患
<u>手足の脱力、しびれ、飲み込みにくい</u> 、痛み、眼球運動障害	神経障害 (ギラン・バレー症候群など)
<u>まぶたが垂れ下がる、顔の筋肉が動きにくい、手足・肩・腰などの脱力</u> 、ろれつが回りにくい	重症筋無力症
<u>発熱、頭痛、吐き気</u> 、おう吐、腹痛、下痢、咳、胸痛、だるさ	心筋炎
<u>めまい、脈が速い、だるさ</u> 、頭痛、顔色が悪い、白目が少し黄色い	溶血性貧血
<u>めまい、脈が速い、だるさ</u> 、頭痛、顔色が悪い	赤芽球ろう

腹痛

以下の症状がないかをチェックしてください。

症状	疑われる病名
発熱、咳、味・においの異常、だるさ、下痢、吐き気、頭痛、意識レベル低下、息苦しさ	新型コロナウイルス感染症
下痢、血便、吐き気、おう吐	大腸炎
背部痛、発熱、白目が黄色い、吐き気	膵炎
むくみ、尿量減少、吐き気、発熱、関節痛、下痢、体重減少	腎障害
無気力感、不安、吐き気、性格変化、意識レベル低下、脱力感、おう吐、発熱、だるさ、食欲不振、血圧低下、色素沈着	副腎障害
口渇、多飲、トイレが近い、発熱、だるさ、吐き気、意識レベル低下	1型糖尿病
発熱、頭痛、吐き気、おう吐、下痢、咳、だるさ、息苦しさ、胸痛	心筋炎

頭痛

以下の症状がないかをチェックしてください。

症状	疑われる病名
<u>発熱、咳、味・においの異常、だるさ</u> 、下痢、腹痛、吐き気、意識レベル低下、息苦しさ	新型コロナウイルス感染症
<u>多飲、物が見えにくい、口渇</u> 、乳汁分泌、トイレが近い、だるさ	下垂体障害
<u>吐き気、意識レベル低下、首を前に曲げにくい</u> 、けいれん、発熱	脳炎・髄膜炎
<u>発熱、息苦しさ、吐き気</u> 、おう吐、腹痛、下痢、咳、胸痛、だるさ	心筋炎
<u>めまい、息苦しさ、脈が速い</u> 、だるさ、顔色が悪い、白目が少し黄色い	溶血性貧血
<u>めまい、息苦しさ、脈が速い</u> 、だるさ、顔色が悪い	赤芽球ろう

手足の脱力

以下の症状がないかをチェックしてください。

症状	疑われる病名
<u>飲み込みにくい、手足のしびれ、眼球運動障害、痛み、息苦しさ</u>	神経障害 (ギラン・バレー症候群など)
<u>まぶたが垂れ下がる、顔の筋肉が動きにくい、息苦しさ、肩・腰などの脱力、ろれつが回りにくい</u>	重症筋無力症
<u>筋肉痛、発熱、尿が赤茶色</u>	筋炎・横紋筋融解症
<u>無気力感、不安、性格変化、吐き気、意識レベル低下、発熱、おう吐、腹痛、だるさ、食欲不振、血圧低下、色素沈着</u>	副腎障害
<u>まぶたがはれる、皮膚乾燥、体重増加、だるさ、便秘、脈が遅い、寒がり</u>	甲状腺機能低下症

ILD（間質性肺疾患）

説明

炎症などによって、肺胞（はいほう）という肺の一番奥の小さな袋（酸素を取り入れる場所）の壁が厚くなって、酸素が取り込みにくくなる状態です。レントゲン写真、血液検査（KL-6）などで診断しますが、患者さん本人の自覚症状が早期発見に重要です。重症化すると命に関わることもあるため、早期発見で治療を開始することが重要です。副腎皮質ステロイド剤などで治療を行います。

主な症状

- 空咳（からげき；痰のない咳）が出る
- 階段を登ったり、少しはやく歩いたりすると息が苦しくなる
- 発熱する

ギラン・バレー症候群

説明

免疫が神経系を攻撃することによって起きる病気です。症状、血液検査、髄液（ずいえき）検査などで診断します。早期に発見し、早期に治療を開始することで改善が望めますが、悪化すると重い不整脈など命に関わる症状が現れる場合があります。免疫グロブリン製剤で免疫を調整する治療や血液浄化（じょうか）療法で治療が行われます。

主な症状

- 両側の手や足に力が入らない
- 歩行時につまずく
- 階段 を上がれない
- 物がつかみづらい
- 手や足の感覚が鈍くなる
- 顔の筋肉がまひする
- 食べ物がのみ込みにくい
- 呼吸が苦しい

赤芽球癆（せきがきゅうろう）

説明

免疫が赤血球や赤血球のもととなる細胞（赤芽球前駆（ぜんく）細胞）を攻撃することで起きる貧血の一種です。

主な症状

- 顔色が悪い
- 疲れやすい
- だるい
- 頭が重い
- どうき
- 息切れ

血球貪食症候群

(けっきゅうどんしょくしょうこうぐん)

説明

体内のウイルスや異物を食べて処理する免疫細胞のひとつ「マクロファージ」が白血球、赤血球、血小板といった血液の細胞を食べてしまう状態です。

主な症状

- 白血球減少⇒感染症に対する抵抗力の低下
- 赤血球減少⇒貧血
- 血小板減少⇒血が止まりにくい
- お腹が張る（脾臓（ひぞう）の腫れ（はれ）、腹水）

点状出血

説明

皮膚や粘膜の小さな血管（毛細血管）からの出血で、小さな赤い斑点（はんてん）ができる状態です。血小板が減るなどによる出血傾向のひとつです。

主な症状

出血傾向の初期の症状として表れ、物理的な刺激が加わる手足に多くみられます。症状がひどくなるとかゆみや痛みを伴うこともあります。

I : 刺激しないでも覚醒している状態 (I 桁で表現)

0 意識清明

I-1 だいたい清明であるが、今ひとつはっきりしない

I-2 見当識障害がある (場所や時間、日付が分からない)

I-3 自分の名前、生年月日が言えない

II : 刺激で覚醒するが、刺激をやめると眠り込む状態 (II 桁で表現)

II-10 普通の呼びかけで容易に開眼する

II-20 大きな声または体を揺さぶることにより開眼する

II-30 痛み刺激を加えつつ呼びかけを繰り返すことにより開眼する

III : 刺激しても覚醒しない状態 (III 桁で表現)

III-100 痛み刺激に対し、払いのける動作をする

III-200 痛み刺激に対し、少し手足を動かしたり、顔をしかめたりする

III-300 痛み刺激に反応しない

いつもと違う症状
(I-1以降)で受診
しましょう

刺激で目を開く

刺激しても
目を開けない

謝辞

- 押川勝太郎先生
 - 患者さん向けマニュアル作成の提案
 - YouTubeプラットフォームの提供
- 松原重征先生
 - 症状、病名の解説スライドの作成
- HSさん
 - 患者さん向けアンケートの作成、助言
- アンケートに答えていただいた方
- YouTubeライブ配信のチャットで参加していただいた方

最後に

- がん免疫療法副作用の3分自己チェック法は、**がん患者さんや一般の人の意見**を取り入れながら、みんなで作成しました。
- 「がん患者さん向けのirAE(**あいあーるえーいー**)逆引きマニュアルを**み～んな**でつくろう**プロジェクト**」、略して **あいみ～んプロジェクト** (**iMP**)で作り上げました。
- 追加、訂正、助言などは、resdoctorn@gmail.comまで。
- み～んなの意見を取り入れながら、よりよいマニュアルになるようにバージョンアップしていきます。ご支援よろしく申し上げます。
- PDFファイル入手先は、呼吸器ドクターNのHPから。

<https://resdoctorn.jimdofree.com/>